

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- レジオネラ症の報告が1例(70歳代男性)あり、感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は5例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が3例(80歳代男性2例及び90歳代女性1例)あり、いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は14例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(10歳未満男性及び80歳代女性)あり、本年の累積報告数は28例となりました。
- 梅毒の報告が2例(20歳代及び40歳代女性)(13週追加報告分1例含む)ありました。いずれも感染経路は国内で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は19例となりました。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

- 百日咳の報告が1例(10歳代女性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込み、白血球数増多です。感染地域は国内で、本年の累積報告数は22例となりました。

◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

京都市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.19(51例)となり、前週の0.98から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別、年齢、症状、感染地域^{*}、感染経路^{*}の順に掲載。ただし、結核は除く。)

- 二類: 結核 8例(肺結核 5例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者2例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 79例(肺結核 30例, その他結核 18例, 潜在性結核感染者 31例)うち喀痰塗抹陽性 15例】
- 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 14例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 28例】
- 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 19例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 22例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.90	62
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.60	284
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	51
	③ 伝染性紅斑	0.58	25
	④ RSウイルス感染症	0.35	15
	④ 水痘	0.35	15
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

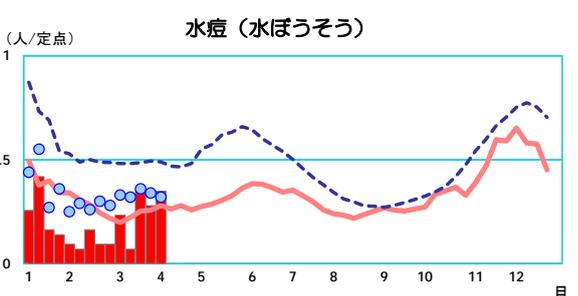
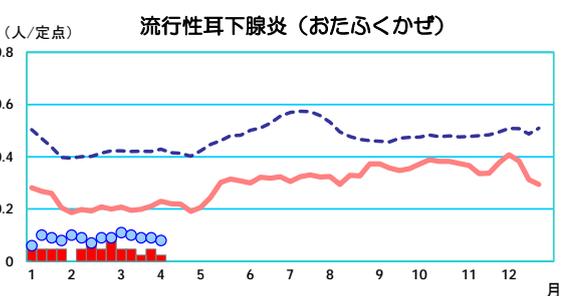
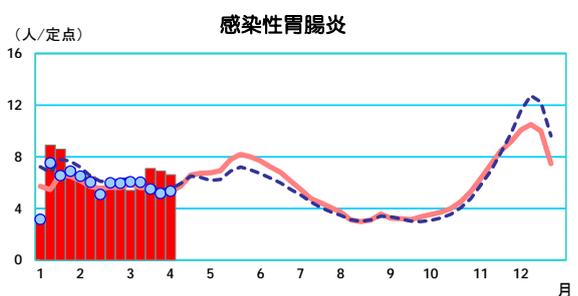
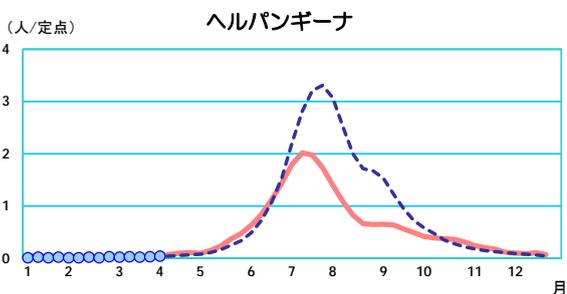
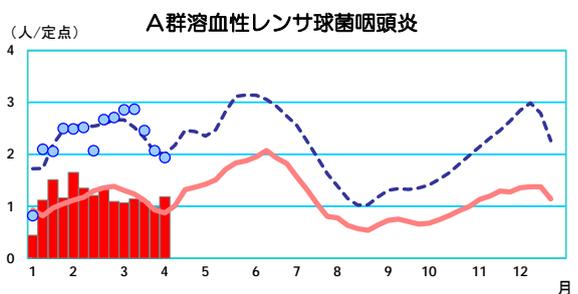
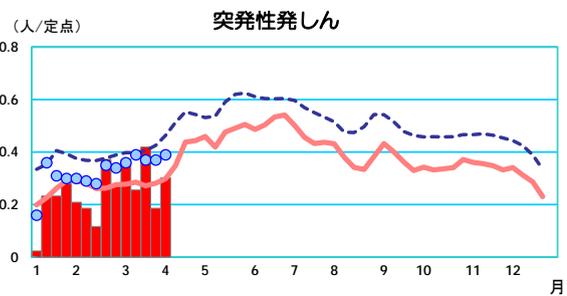
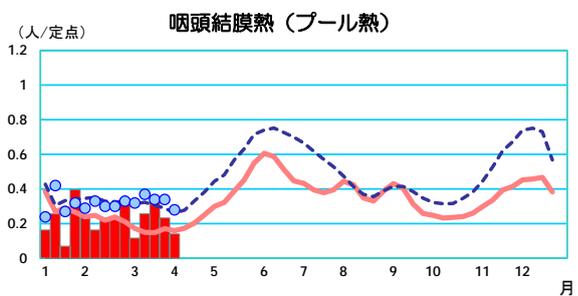
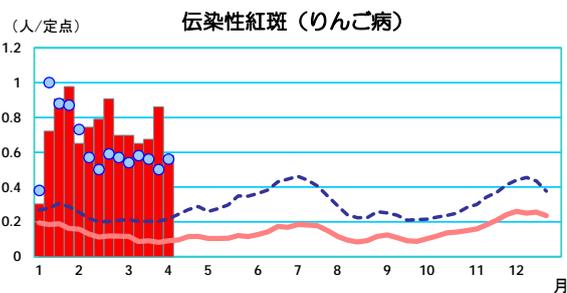
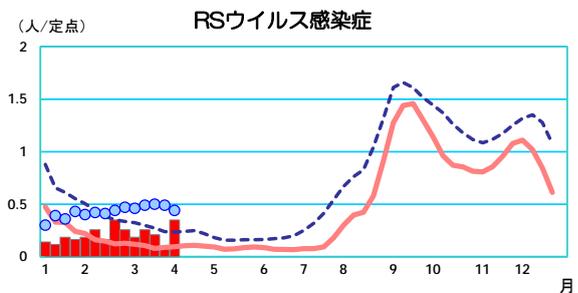
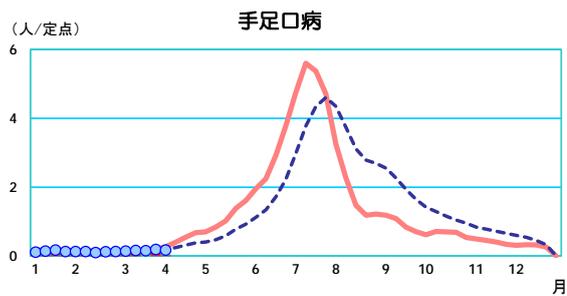
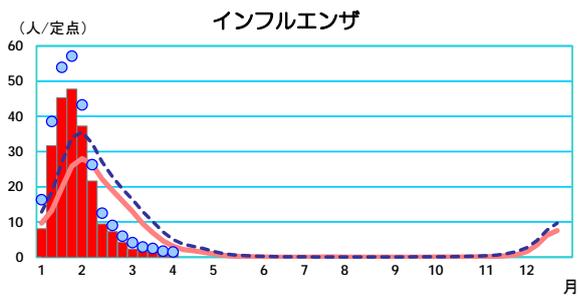
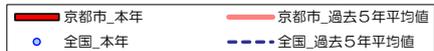
付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、2019年4月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

^{*} 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第14週(4月1日～4月7日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

発生動向

京都市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.19(51例)となり、前週の0.98から増加しました。全国では1.94となり、京都市及び全国ともに過去5年平均値とほぼ同様で、例年並みの推移状況です(図1)。京都市の過去5年の推移をみても、本疾患が警報レベル「8」に至るほど大流行した年や年周期的な流行はありませんが(図2)、例年6月頃に流行がみられるため今後の動向に注意しましょう。

過去の京都市における年齢階級別割合では、1歳未満の報告はほとんどない一方、1歳～5歳の乳幼児期が45.0～59.1%、6歳～9歳が21.6～38.0%となっており、9歳以下で全報告数の約80%を占め、本年も同様の傾向となっています(図3)。特に未就学児の感染が多く占めることから幼稚園や保育園での集団感染には十分気をつけてください。

症状と感染経路

本疾患は溶連菌感染症と呼ばれることが多く、A群溶血性レンサ球菌が原因で引き起こされる感染症です。感染経路は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによって感染する「飛沫感染」と、手指を介して感染する「接触感染」です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感を発症し、しばしば嘔吐を伴います。皮膚に赤い発疹や舌にいちご状の発赤(いちご舌)が現れることがあります。

予防

手洗いなどが感染に対する一番の予防となります。症状がある人とは密接な接触を避けましょう。

○京都市では子どもの感染症に関するリーフレットを発行しています。下記URLから御活用ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/A-renkyukinintouen.pdf>

図1 本市の定点当たり報告数の推移

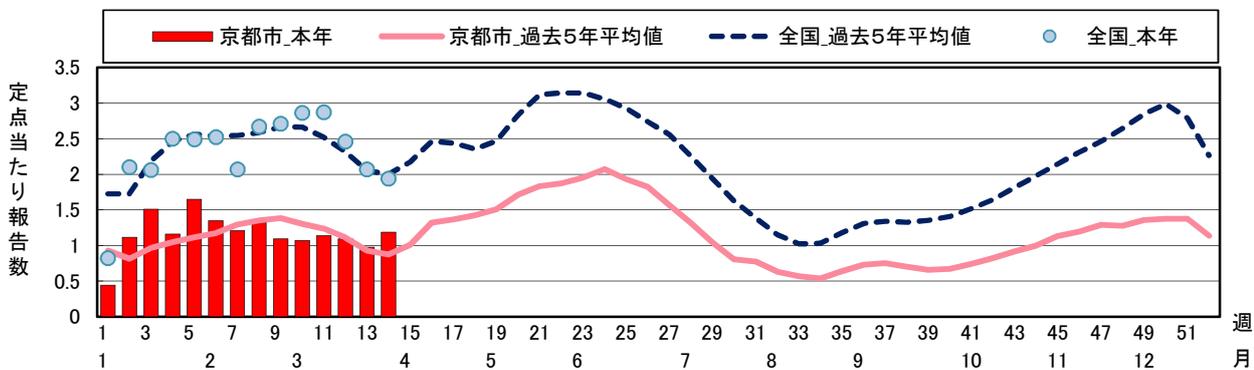


図2 本市の過去5年間の報告数の推移

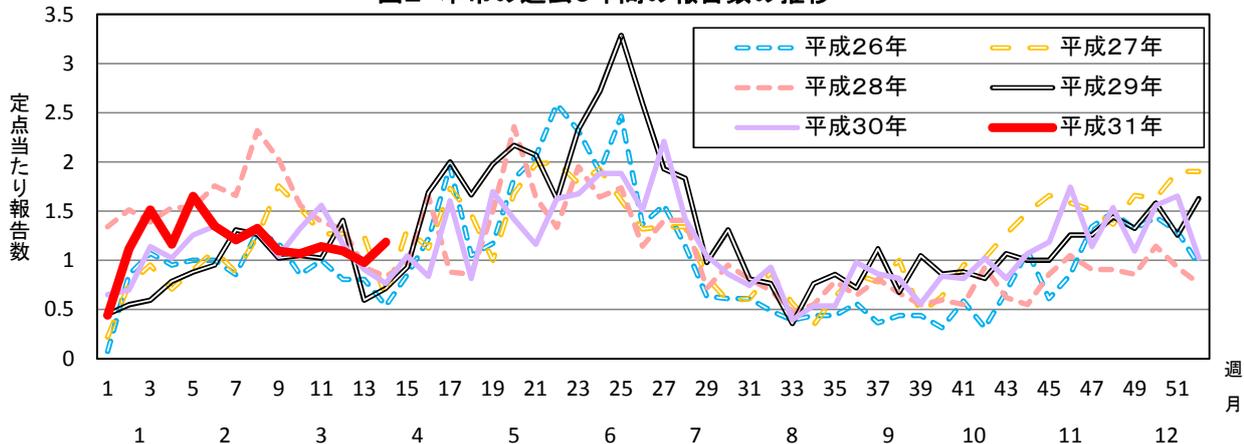
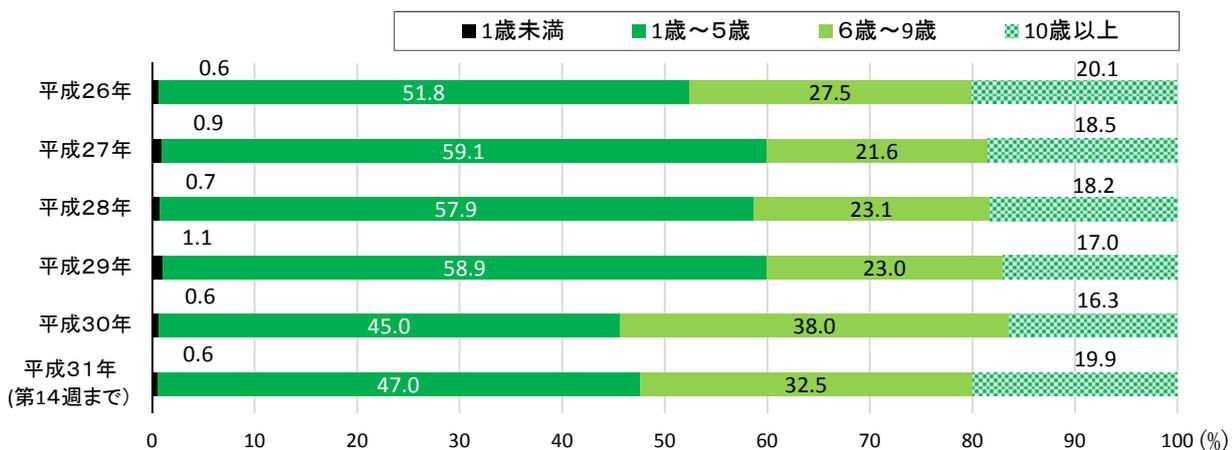


図3 本市の年齢階級別割合の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第14週

疾病,行政区別報告数

2019年4月1日～2019年4月7日

データ入手日:2019年4月10日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	2	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	4	-	-	1	7	3	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	11	3	-	5	35	-	-	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	2	2	-	3	17	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	2	-	1	21	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	4	2	-	2	8	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	21	-	-	4	19	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	6	5	5	17	66	3	-	9	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	8	1	1	11	82	1	-	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	1	-	-	5	25	4	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	62	15	6	51	284	15	1	25	13	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.29	-	-	0.50	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	0.80	-	-	0.33	2.33	1.00	-	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	1.57	0.75	-	1.25	8.75	-	-	1.75	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	0.40	0.67	-	1.00	5.67	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	1.00	-	0.50	10.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	0.57	0.40	-	0.40	1.60	-	-	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	4.20	-	-	1.33	6.33	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	0.75	1.00	1.00	3.40	13.20	0.60	-	1.80	1.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	0.73	0.14	0.14	1.57	11.71	0.14	-	0.14	0.29	0.14	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	0.13	-	-	1.00	5.00	0.80	-	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.90	0.35	0.14	1.19	6.60	0.35	0.02	0.58	0.30	0.02	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第14週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年4月1日～2019年4月7日

データ入手日:2019年4月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	62	-	-	1	5	3	1	10	2	1	1	1	3	4	9	6	4	3	3	5	-	
RSウイルス感染症	年齢3	15	7	1	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		6	-	1	-	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		51	-	1	4	4	3	6	9	4	5	4	3	2	-	6	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		284	4	12	41	52	46	20	24	14	15	13	17	-	11	-	-	-	-	-	-	-	
水痘		15	-	-	2	2	3	2	1	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		25	-	-	-	3	2	4	5	3	2	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		13	-	2	9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.90	-	-	0.01	0.07	0.04	0.01	0.14	0.03	0.01	0.01	0.01	0.04	0.06	0.13	0.09	0.06	0.04	0.04	0.07	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.35	0.16	0.02	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.14	-	0.02	-	0.05	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.19	-	0.02	0.09	0.09	0.07	0.14	0.21	0.09	0.12	0.09	0.07	0.05	-	0.14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.60	0.09	0.28	0.95	1.21	1.07	0.47	0.56	0.33	0.35	0.35	0.30	0.40	-	0.26	-	-	-	-	-	-
水痘		0.35	-	-	0.05	0.05	0.07	0.05	0.02	-	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.58	-	-	-	0.07	0.05	0.09	0.12	0.07	0.05	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.30	-	0.05	0.21	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第14週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年4月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	293	160	122	123	81	62
RSウイルス感染症	11	8	11	9	4	15
咽頭結膜熱	14	5	11	14	10	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	46	49	47	42	51
感染性胃腸炎	249	232	238	305	297	284
水痘	4	10	3	15	12	15
手足口病	5	3	5	-	8	1
伝染性紅斑	30	30	28	29	37	25
突発性発しん	12	16	11	18	8	13
ヘルパンギーナ	1	3	1	-	-	1
流行性耳下腺炎	4	2	2	1	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	1	-	-	-	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	672	516	481	561	501	475

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	4.25	2.32	1.77	1.78	1.17	0.90
RSウイルス感染症	0.26	0.19	0.26	0.21	0.09	0.35
咽頭結膜熱	0.33	0.12	0.26	0.33	0.23	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	1.07	1.14	1.09	0.98	1.19
感染性胃腸炎	5.79	5.40	5.53	7.09	6.91	6.60
水痘	0.09	0.23	0.07	0.35	0.28	0.35
手足口病	0.12	0.07	0.12	-	0.19	0.02
伝染性紅斑	0.70	0.70	0.65	0.67	0.86	0.58
突発性発しん	0.28	0.37	0.26	0.42	0.19	0.30
ヘルパンギーナ	0.02	0.07	0.02	-	-	0.02
流行性耳下腺炎	0.09	0.05	0.05	0.02	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.10	-	-	-	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	13.21	10.67	10.12	11.97	10.94	10.58

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。